

第126回秋季講演大会加工・鋼構造部門指定テーマによる講演募集

鋼構造物

土木、建築、海洋構造物を対象にして、新しく開発された鋼材の材料特性、及び、一般鋼材や複合材料を用いた新工法、新利用技術の構造特性などに関する基礎から応用にわたる論文の講演を広く募集いたします。

なお、第126回講演大会では下記の依頼講演を予定しておりますので、奮ってご参加下さい。原稿枚数等は一般講演に準じます。

(1) 「鋼構造耐帯力数値データベースとその応用」

名古屋大学工学部土木工学科教授 宇佐美 勉

(2) 「力学から見た空間構造」

名城大学理工学部建築学科教授 日置興一郎

第126回秋季講演大会プラズマプロセッシング指定テーマによる講演募集

プラズマおよび高密度エネルギービームにおける熱輸送現象の基礎とプロセス応用

プラズマや電子ビーム、高出力レーザーは、鉄鋼プロセスにおいてエネルギー源として、加熱・溶解、溶接、切断、溶射その他の表面改質などに広く利用されてきました。最近はさらに、環境問題対応や資源リサイクルの観点からの新たな応用も検討されています。これらのエネルギー源は、熱的、化学的、電気的その他いろいろな工学的観点からみて他のエネルギー源とは異なる特徴があると言われています。プラズマセッションでは、これらの特徴を順次指定テーマとして討論していくことを企画しております。今回はその第一回として「熱輸送」をテーマに取り上げます。固体あるいは液体の表面での伝熱機構、熱輻射や熱損失機構、温度やエネルギー分布などに関する基礎的研究、加熱や溶解その他の具体的な応用プロセスに関する新技術、実験および現場操業から得られた新知見、問題点の提示など、広く講演を募集いたします。なお大阪大学牛尾誠夫教授、東京工業大学神沢淳教授の依頼講演を予定しております。

第126回秋季講演大会材料電磁プロセッシング指定テーマによる講演募集

素材製造プロセスにおける電磁気の利用技術は、鉄鋼プロセスにおいては、精錬、鑄造工程を中心に、今後、ますます発展を遂げようとしています。一方、電磁気の利用技術は、原子力やMHD関連において基礎的に研究されてきました。また、最近では、Si単結晶引き上げプロセスや高融点金属のコールド・クルーシブル溶解において電磁気利用技術が急速に発展してきています。

今回は、これらの種々の分野での電磁気利用技術のその基礎から応用にいたるまでの講演を広く募集致します。

講演大会では、井上晃教授(東京工業大学)、尾添紘之教授(九州大学)の依頼講演を予定しております。

投稿規程補足(現場技術報告)改訂のお知らせ

主な変更点は以下の2点です。

①投稿資格(旧)第一著者が本会員であること。

(新)特に定めないが、著者に会員を含めることが望ましい。

②受付後の取扱い(追加) * 「現場技術報告」として投稿した内容を中心に論文を構成し、投稿することは可とする。

投稿規程補足は毎号「現場技術報告」目次ページ裏面に掲載しております。